

令和3年度事業報告

I 組織運営

1. 理事会・総会

理事会・総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、書面決議で実施し、次の議案について、議決をいただいた。

- ①令和2年年度事業報告及び収支決算（案）
- ②令和3年度事業計画及び収支予算（案）

2. 企画・運営委員会

令和3年度の企画・運営委員会は、令和4年3月に1回開催し、令和3年度事業報告（案）、令和4年度事業計画（案）、3Rを取り巻く最近の内外の動向について審議いただいた。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から企画・運営委員会はオンライン開催とした。

II 会員の強化・拡充

1. 取組

会員の強化・拡充については、政令指定都市の未入会団体等に入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、機会があるごとに市へ電話連絡などをして入会をお願いした。

2. 入会状況

会員の入会状況については、今年度、横浜市、東大和市が新たに入会し、現在、75自治体会員（47都道府県、8政令指定都市、10特別区、10中核市・特別市・一般市）と66民間団体で141団体である。（資料2の会員一覧を参照）

III 3R推進全国大会及び関連事業

1. 第15回3R推進全国大会の開催

「第15回3R推進全国大会」は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和3年10月20日（水）13時から、環境省、近畿地方環境事務所、和歌山県、3R活動推進フォーラムの共催で、ホテルアバローム紀の国（和歌山県和歌山市湊通丁北2-1-2）を配信拠点として、オンライン開催した。また、大会の内容については、大会終了後、10月22日（金）～11月19日（金）までアーカイブ配信（YouTube）を行った。本大会は、合計337名の参加申

込があり（大会のみ 195 名、大会および施設見学会 142 名）、アーカイブ配信を含む総再生回数は 1,219 回であり、成功裏に終了した。

2. 令和 3 年度 3 R 促進ポスターコンクールの実施

環境省と共催で令和 3 年度 3 R 促進ポスターコンクールを、以下のように実施した。

- 募集期間 令和 3 年 6 月 1 日（火）～9 月 10 日（金）
- 応募数

小学生低学年の部（1～2 年生）	668 点
小学生中学年の部（3～4 年生）	1,902 点
小学生高学年の部（5～6 年生）	2,218 点
中学生の部	1,833 点
合計	6,621 点
- 選考・第一次審査 令和 3 年 9 月 17 日（金）
（公財）廃棄物・3 R 研究財団会議室
- ・第二次審査 令和 3 年 9 月 28（火）
法曹会館 2 階高砂の間
- 入賞 各部門で最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点、佳作 10 点、4 部門計 56 点を選定

- 表彰 最優秀賞者の表彰は、第 15 回 3 R 推進全国大会式典の席で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から大会自体がオンライン開催となり、オンラインで作品を紹介した。

3. 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰の推薦

環境省が実施する循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰に対して、3 R 活動推進フォーラムでは、平成 18 年度から循環型社会の形成について顕著な成果を上げている個人、企業又は団体について会員団体から推薦を受け、環境省へ推薦している。令和 3 年度は、会員からの推薦はなかった。表彰式は、第 15 回 3 R 推進全国大会式典の席で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から大会自体がオンライン開催となり、オンラインで紹介した。全体で 5 企業、2 団体が受賞した。

IV 連携・協働事業

1. セミナー等の開催

プラスチックごみ対策や循環経済への転換等をテーマに、都道府県、NPO 団

体など会員団体との連携セミナー等を12回にわたって開催した。

(1) 環境省主催 3R推進地方セミナーの開催

プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応がますます重要になっていることから、政府は、プラスチック使用製品の設計からプラスチック廃棄物の処理に至るまでの各段階において、あらゆる主体におけるプラスチック資源循環の取組(3R+Renewable)を促進するための措置を講じた「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を令和4年4月1日に施行した。こうした状況を踏まえ、国民はじめ関係者にこれらの周知徹底を図り、各主体が具体的に行動を起こしていただくための情報を提供するため、環境省主催の3R推進地方セミナーをWebにて3回開催した。

①名称：環境省主催 3R推進地方セミナー in 福岡～プラスチック資源循環法の施行に向けて～

- 主催： 環境省
- 共催： 福岡県、3R活動推進フォーラム
- 日時： 令和3年11月26日(金) 13:00～16:00
- 開催方式：オンライン開催
- 参加者：175名(オンライン参加申込者)
- 内容：

<基調講演>

プラスチックの資源循環に係る促進等に関する法律の概要
環境省環境再生・資源循環局総務課
循環型社会推進室長・リサイクル推進室長 平尾禎秀氏

<事例発表>

(1) プラスチックリサイクルの現状と課題

日本容器包装リサイクル協会プラスチック容器事業部課長 清水健太郎氏

(2) プラスチックの基礎知識とプラスチック資源循環に係る企業動向

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会専務理事 久保直紀氏

(3) 松本市におけるプラスチックの一括回収

松本市環境エネルギー部環境業務課 林浩司氏

②名称：環境省主催 3R推進地方セミナー in 岩手～プラスチック資源循環

法の施行に向けて～

- 主催： 環境省
- 共催： 岩手県、3R活動推進フォーラム
- 日時： 令和4年2月2日（水） 13:00～16:00
- 開催方式：オンライン開催
- 参加者：165名（オンライン参加申込者）
- 内容：

<基調講演>

プラスチックの資源循環に係る促進等に関する法律の概要

環境省環境再生・資源循環局総務課

循環型社会推進室長・リサイクル推進室長 平尾禎秀氏

<事例発表>

(1) プラスチックリサイクルの現状と課題

日本容器包装リサイクル協会プラスチック容器事業部課長 清水健太郎氏

(2) プラスチックの基礎知識とプラスチック資源循環に係る企業動向

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会専務理事 久保直紀氏

(3) 仙台市におけるプラスチックの一括回収

仙台市環境局廃棄物事業部廃棄物企画課長 藤田規広氏

③名称：環境省主催 3R推進地方セミナー in 岡山～プラスチック資源循環

法の施行に向けて～

- 主催： 環境省
- 共催： 岡山県、3R活動推進フォーラム
- 日時： 令和4年2月18日（金） 13:00～16:00
- 開催方式：オンライン開催
- 参加者： 147名（オンライン参加申込者）
- 内容：

<基調講演>

プラスチックの資源循環に係る促進等に関する法律の概要

環境省環境再生・資源循環局総務課

循環型社会推進室長・リサイクル推進室長 平尾禎秀氏

<事例発表>

(1) プラスチックリサイクルの現状と課題

日本容器包装リサイクル協会プラスチック容器事業部課長 清水健太郎氏

(2) プラスチックの基礎知識とプラスチック資源循環に係る企業動向
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会専務理事 久保直紀氏

(3) 亀岡市におけるプラスチックの一括回収
亀岡市環境先進都市推進部環境クリーン推進課長 大西光治氏

(2) 会員等との共催による連携セミナー

①名称：とやま環境フェア 2021

- 主催：とやま環境フェア開催委員会
(富山県、高岡市、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団)
- 共催：3R活動推進フォーラム、北陸環境共生会議
- 期間：令和3年10月1日(金)～令和4年1月16日(日)(ウェブ会場)
令和3年10月23日(土)、10月24日(日)、12月4日(土)
の3日間に分散開催(小規模リアル会場開催：御旅屋セリオ
5F マルチスペース(富山県高岡市御旅屋町101番地))各日
とも午前 10:00～12:00、午後 13:00～15:00
- 開催方式：オンライン開催及び会場開催(御旅屋セリオ)

内容：

・昨年より中身を充実したウェブ開催を中心としつつ、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでの小規模な会場での体験、体感型のリアル開催を併用して実施。

併催： 富山県ごみゼロ推進県民大会

②令和3年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会

- 主催：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム
- 日時：令和3年10月15日(金) 13:10～15:50
- 開催方式： オンライン開催
- 参加者：125名(オンライン参加申込者)
- 内容：

<特別講演>

最近の廃棄物政策の動向と今後の展望について

環境省 環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長 名倉良雄氏

<調査研究等報告>

(1) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金業務について
(公財)廃棄物・3R研究財団事業支援部技術担当部長 浅野悦夫氏

- (2) 自治体の災害廃棄物対策向上における人材育成研修と知見の継承
(公財) 廃棄物・3R研究財団企画部担当部長 夏目吉行氏
- (3) 次世代静脈インフラの構築に向けた包括的研究
～DXによる廃棄物処理施設の効率化・共同化に向けて～
(公財) 廃棄物・3R研究財団企画部主任研究員 山口純二氏
- (4) 海外循環ビジネス支援センターの活動概要
(公財) 廃棄物・3R研究財団海外循環ビジネス支援センター
副センター長 松村隆氏
- (5) 3R活動推進フォーラムの活動報告
～事業活動報告と今後の方向性～
3R活動推進フォーラム主任研究員 河村栄作氏

③名称:循環・3Rリレーセミナー～プラスチック資源循環(3R+Renewable)
の促進を考える～

主催:リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、
3R活動推進フォーラム

日時:令和4年1月31日(月)13:00～16:30

開催方式:オンライン開催

参加者:147名(オンライン参加申込者)

内容:

<基調講演>

資源循環ビジネスとプラスチック資源循環法

中部大学副学長・経営情報学部大学院教授

慶応義塾大学名誉教授 細田衛士氏

<話題提供>

(1) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について

環境省環境再生・資源循環局総務課
循環型社会推進室長・リサイクル推進室長 平尾禎秀氏

(2) 食品産業の食品ロスへの対応について

農林水産省新事業・食品産業部食品ロス・リサイクル対策室長 森幸子氏

(3) 「資源循環政策について」CEビジョン、プラスチック資源循環促進法

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課長 羽田由美子氏

<トピックス>

(1) CE・CNから考えるプラスチック資源循環

福岡大学工学部化学システム工学科教授 八尾滋氏

(2) ネットゼロ社会のプラスチック資源循環:水平リサイクルの重要性

叡啓大学特任教授・神戸大学名誉教授 石川雅紀氏

④名称：TOKYO2020レガシー報告会

～わたしたちが知っておきたい循環・3Rの事例～

□主催： NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進
フォーラム

□日時： 令和3年10月6日（水）13:30～15:45

□開催方式：オンライン開催

□参加者数：83名

□内容：

事例1 楽しくリサイクルして循環型社会を形成 ～携帯電話と洋服～

日本環境設計（株）会長 岩元美智彦氏

事例2 禁忌品の紙皿は全量をトイレトペーパーに再生

コアレックス信栄（株）執行役員 佐野仁氏

情報提供 組織委員会外部委員の視点から

元気ネット前理事長

組織委員会街づくり・持続可能性委員会委員 崎田裕子氏

⑤名称：リチウムイオン電池トラブル防止に関するマルチステークホルダー検
討会合

□主催：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

3R活動推進フォーラム

□日時： 令和3年12月23日（木）13:30～15:30

□開催方式：会場（公益財団法人廃棄物・3R研究財団会議室）とオンラ
インのハイブリット開催

□参加者： 43名

□内容：

開会経緯とアンケート報告

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 鬼沢良子氏

トラブルの現状①

東京都産業資源循環協会常任理事 二木玲子氏

トラブルの現状②

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会プラスチック容器事業部

副部長 雨谷忍氏、課長 清水健太郎氏

自治体の取り組み

新潟市環境部循環社会推進課 曾我秀紀氏

事業者の取り組み①

一般社団法人JBRC専務理事 金澤祐一氏

事業者の取り組み②

一般社団法人日本たばこ協会事務局長 畠山信幸氏

事業者の取り組み③

一般社団法人小型家電リサイクル協会事務局長 松山保夫氏

EUの情報提供

東北大学大学院環境科学研究科先進社会環境学専攻 白鳥寿一氏

ステカタnavi

一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会（APSP） 木村有香氏

⑥名称：CLOMA-自治体連携セミナー

□主催： CLOMA、3R活動推進フォーラム

□協力： 公益社団法人全国都市清掃会議

□日時： 令和4年2月14日（月）13:00～15:00

□開催方法：オンライン開催（ZOOM ウェビナー）

□参加者数：472名

□内容：

モデレーター：環境カウンセラー

関根久仁子氏

講演 中部大学副学長・経営情報学部大学院教授・慶応義塾大学名誉教授

細田 衛士氏

<自治体の取組事例の発表>

神戸市環境局長

福本 富夫氏

埼玉県 資源循環経済課長

佐々木 亨氏

広島県 環境保全課長

岡田 誠司氏

東大和市 ごみ対策課長

中山 仁氏

東京都 資源循環推進専門課長

古澤 康夫氏

<CLOMA/会員企業の取組>

CLOMA 事務局 技術統括

柳田 康一氏

(株)セブン&アイ HLDGs 執行役員

釣流まゆみ氏

花王(株) 包装技術研究所

瀬戸 啓二氏

⑦名称：令和3年度第1回3団体交流ミーティング ～プラスチック資源循環を考えるための現場からのメッセージ～【企業・自治体の意

見交換会】

□主催： リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム

□日時： 令和4年3月3日（木）13:00～16:30

□開催方法：オンライン開催

□参加者数：65名（オンライン参加申込者）

□内容：

<特別講演1>

「プラスチック資源循環法を解説する」

環境省環境再生・資源循環局総務課

リサイクル推進室室長補佐江藤文香氏

<特別講演2>

「プラスチック循環経済への転換と脱炭素への動き」

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課長

羽田由美子氏

<意見交換会1>

「プラ資源循環法の施行に向けた自治体動向 ～一括回収等の現状と課題～」

（座長）叡啓大学特任教授・神戸大学名誉教授

石川雅紀氏

東京都環境局資源循環推進部計画課 担当課長

古澤康夫氏

福岡筑後プラスチックリサイクルループ推進協議会

近藤加代子氏

福岡県大木町まちづくり課

高田佳奈氏

松本市環境エネルギー部環境政策課長

原文彦氏

渋谷区環境政策部清掃リサイクル課長

村山英樹氏

<意見交換会2>

「プラ資源循環法の施行に向けた企業動向 ～リサイクル等の現状と課題～」

（座長）プラスチック容器包装リサイクル推進協議会専務理事久保直紀氏

CLOMA 事務局技術統括

柳田康一氏

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

プラスチック容器事業部課長

清水健太郎氏

昭和電工株式会社川崎事業所企画統括部兼

プラケミカルリサイクル推進室長

栗山常吉氏

全日本プラスチックリサイクル工業会

磯野正幸氏

（3）環境塾

①名称：わたしたちが知っておきたい循環・3Rの基礎知識

市民・NPOのための環境塾

□主催：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

3 R 活動推進フォーラム

□日時：令和4年1月24日（月） 13:00～15:30

□開催方式：オンライン開催

□参加費： 1,500円

□参加者： 33名

□内容：

<講座>

(1) プラスチック資源循環促進法（プラ新法）の解説

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室

室長補佐 江藤文香氏

(2) プラスチック資源循環プログラム：

UMILE(ユーマイル) 「サステナビリティを暮らしの“あたりまえ”に」

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

繁田知延氏

(3) プラスチックリサイクル実証事業報告

埼玉県環境部資源循環推進課長 佐々木享氏

<パネルディスカッション>

コーディネーター： 関根久仁子（環境カウンセラー）

パネリスト： 繁田氏、佐々木氏、鬼沢氏（元気ネット理事長）

②名称：自治体・事業者のためのオンライン実務専門講座～循環経済、脱炭素、プラスチックの基礎情報～

□主催： 3 R 活動推進フォーラム

□日時： 令和4年3月25日（金） 10:00～16:35

□開催方法：オンライン開催

□参加費： 3,000円

□参加者： 29名

□内容：

I. 基調講演「脱炭素とプラスチック等循環経済政策の動向」

公益財団法人廃棄物・3 R 研究財団理事長 梶原成元氏

II. 行政概論「プラスチック資源循環法の概要」

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長・

リサイクル推進室長 平尾禎秀氏

- III. プラスチック特論①「プラスチック資源循環の現状と課題」
日本容器包装リサイクル協会プラスチック容器事業部課長
清水健太郎氏
- IV. プラスチック特論②「プラスチック一括回収の効果と課題」
長野県松本市環境・エネルギー部環境業務課課長補佐 林浩司氏
- V. プラスチック特論③「プラスチックの基礎知識と企業動向」
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会専務理事 久保直紀氏
- VI. プラスチック特論④「プラスチックの一括回収の現状と課題」
福岡県大木町町長 境公雄氏
- VII. プラスチック特論⑤「高度ソーティングと EU のリサイクル」
EEFA 代表・元トムラソーティング株式会社代表取締役 佐々木恵氏
- VIII. プラスチック特論⑥「コンパウンダーにおける資源循環の現状と課題」
全日本プラスチックリサイクル工業会 磯野正幸氏

2. その他の後援・協賛等

(1) 後援

- ①2021 小・中学校における環境教育推進支援事業
- ・主 催：スチール缶リサイクル協会
 - ・応募期間：令和3年6月1日(火)～令和3年10月29日(土)
- ②16 回容器包装3R推進フォーラム
- ・主 催：3R推進団体連絡会
 - ・開 催：令和4年1月15日(火)
 - ・会 場：SYD ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2）
- ③建設副産物リサイクル広報用ポスター
- ・主 催：建設副産物リサイクル広報推進会議
 - ・掲出機関：令和3年10月1日(金)～令和4年9月30日(金)
 - ・掲出場所：国土交通省、地方自治体等

(2) 審議会委員・講師の派遣

- ①実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り
組む小・中学校への支援事業審査会委員
- ②3R・低炭素検定試験関東実行委員会委員
- ③3R・低炭素検定試験の講師及び試験官
試験日：令和3年11月7日(日)
会 場：品川フロントビル会議室（東京都港区港南2-3-13）
- ④月間廃棄物編集委員
- ⑤プラスチック使用製品廃棄物の一括回収・再商品化等に関する研究委

員

⑥選別・リサイクル実証研究会委員

V 広報普及活動

1. 展示会への出展

令和3年10月20日（水）に開催した第15回3R推進全国大会の関連イベントである「3R推進展示コーナー」に出展した。

2. 刊行物等の発行

(1) 年次報告書（2020年度版）の作成

3R活動推進フォーラムの令和2年度の事業報告書を作成、ホームページに掲載し、会員、都道府県等関係先に送付した。

(2) その他

3R推進月間用ポスターの作成

令和2年度3R促進ポスターコンクール入賞作品を使用した2種類の3R推進月間用のポスターデータを作成し、希望者に提供した。

3. インターネットを活用した情報発信

(1) ホームページによる情報発信

ホームページに各種お知らせ、開催イベントの様態及び関連資料、発行済みの刊行物・メルマガ等を掲載した。

(2) メルマガ「3R・廃棄物ニュース」の配信

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月2～3回程度配信した。

(3) 3R活動推進フォーラム事務局通信（会員専用）の配信

会員向けに事務局業務の報告や環境省資料等を事務局通信として年3回配信した。

4. 新聞・雑誌等における記事・広告掲載等

(1) 記事

①環境新聞

・令和3年10月6日、13日掲載「第15回3R推進全国大会の開催告知記事」

②環境産業新聞

The Waste Management 掲載

・令和3年10月5日掲載「第15回3R推進全国大会の開催告知記事」

- ③月間廃棄物
 - ・2021 12月号「第15回3R推進全国大会の開催結果記事」
- ④（一社）京都府産業廃棄物3R支援センターニュースレター
 - ・2021 第36号 秋「第15回3R推進全国大会の開催結果記事」

（2）有料広告掲載

①環境新聞

- ・令和3年7月28日掲載（環境省50周年特集号）
- ・令和3年10月6日掲載（通常号）
- ・令和4年1月1日掲載（環境新聞2022年新春特集号）

②環境産業新聞

The Waste Management 掲載

- ・令和3年10月5日掲載（通常号）

5. ガイドラインに沿ったRマーク表示の啓発・普及

Rマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法等広報に努め、また、Rマークのロゴを3R活動推進フォーラムホームページからダウンロードできるようにするとともに、使用に当たっての留意事項を掲載した。なお、最近では、学校教材を出版する出版会社や印刷メーカーからの問い合わせに加えて、その素案の確認作業が多くなっている。

VI 会員サービスの充実

1. 会員との連携・協働事業の実施

自治体等会員団体とセミナー等の開催を行った。なお、費用は連携団体と1/2の負担割合で実施し、運営ノウハウ等情報の共有化を図った。

2. 情報の発信・共有化

（1）会員のイベント情報等をメルマガで配信

メルマガ「3R・廃棄物ニュース」に会員のイベント情報等を掲載し、月2～3回程度配信した。

（2）事務局通信の配信

事業の企画や業務執行の状況等会員に随時報告するための事務局通信を年3回配信した。

（3）ホームページの会員ページへの情報提供

- ①令和3年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会資料をホームページ上に掲載した。

②環境省の行政資料等会員向け情報を掲載した。

VII 団体加入

①こどもエコクラブ

時代を担う子どもたちのコミュニケーションの能力、課題発見、解決能力、多様性を受容できる力、新しい価値を生み出す力など「未来を創る力」を育む活動を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

②一般社団法人持続可能環境センター（3R・低炭素社会検定センター）

環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を共有化するとともに、活動の輪を広げるための教育・人材の育成等を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

VIII 3Rグッズ等の配布・パネル

1) 3R啓発用パネル

3R活動を推進する自治体・団体の皆さまが活用できる3R啓発用パネルをダウンロードして使用できるよう提供した。

2) 3R推進月間用ポスターデータの配布

令和2年度3R促進ポスターコンクール入賞作品を使用した3R推進月間用ポスター用のデータ2種を作成、10月の3R推進月間を中心に希望者に提供した。

IX 調査研究等の実施

今後のプラスチック資源循環の方向性等の情報を収集し、公益財団法人廃棄物・3R研究財団の調査研究事業への協力を行った。

